

# OB NEWS

JAPAN PROFESSIONAL BASEBALL

社団法人全国野球振興会  
(日本プロ野球OBクラブ)

OB NEWS  
vol. 28  
高校球児に直接指導  
指導者講習会がスタート!!  
日本島新聞  
全国野球振興会  
イメージキャラクター  
「9ちゃん」

OB NEWS  
vol. 50  
2011-SUMMER  
少年野球

OB NEWS  
vol. 46  
野球の魅力伝え、さらなる底辺拡大を!

OB CLUB NEWS  
CONGRATULATION  
日本プロ野球OBクラブ誕生!!  
創刊号  
CONTENTS

OB NEWS  
No. 22

OB NEWS  
vol. 29  
所誌表明  
初心忘れず、「野球界への恩返し」を

OB NEWS  
vol. 46  
新たな出発

OB NEWS  
vol. 27

OB NEWS  
「社団法人全国野球振興会」認可!  
「こどもの日少年野球教室」開催!

OB NEWS  
vol. 45

OB NEWS  
vol. 4  
新たな出発

OB NEWS  
vol. 5  
1994年9月に創刊したOB NEWSは

OB NEWS  
vol. 14

OB NEWS  
vol. 24  
特集：日本プロ野球OBクラブ発足10周年

OB NEWS  
vol. 24

1994年9月に創刊したOB NEWSは  
50号を迎えました

# 理事長および三役変更のお知らせ

平成23年5月16日に行われた「第3回理事会」にて、理事長が 森 徹 に変更となりました。それに伴い、副理事長などの三役にも変更がございますので、ご報告申し上げます。

**理事長 森 徹**

**副理事長 清覚 秀雄**

(㈱エージーシー 代表取締役社長)

**三浦 政基**

(学校法人 吉用学園  
専門学校 九州総合スポーツカレッジ 学校長)

**専務理事 道法 孝典**

(㈱タック 代表取締役)

**常務理事 定永 昭紀**

(㈱セミック 取締役)

**木村 竹志**

(関西独立リーグ リーグ代表)

**横山 健一郎**

(レジアスインパクト㈱ 代表取締役)

理事	玉利 齊	前日本健康スポーツ連盟 理事長
	川杉 収二	前日本オリンピック委員会 理事・事務局顧問
	池田 哲雄	㈱ベースボール・マガジン社 代表取締役社長
	金丸 美智夫	㈱オニザキコーポレーション 代表取締役社長
	高津 義信	㈱アスリートジャパン 代表取締役社長
	有賀 誠司	東海大学スポーツ医科学研究所 教授
	吉村 正	NPO法人日本ティーボール協会 理事長
	水嶋 昭彦	メディカルネットサービス㈱ 代表取締役社長
	鶴岡 秀樹	ミズノ㈱ 取締役
	岡本 伊三美	前日本少年野球連盟 顧問
	黒江 透修	野球評論家
	広野 功	野球評論家
	村上 雅則	野球評論家

## 第17回 ダイワハウス全国少年少女野球教室

本年は44会場での開催となりましたが、各地で子どもたちの笑顔が溢れました。



元プロ野球選手の丁寧な指導に子どもたちも大喜び！ (狭子利夫講師)

### ●メイン会場レポート

今年度のメイン会場は埼玉県羽生市。  
17名の講師が約250名の羽生っ子と元気いっぱいに触れ合いました！メイン球場での野球教室ほか、サブグラウンドでは元セ・リーグ審判の富澤宏哉講師、篠宮慎一講師による審判講習会、体育館ではMLBでも活躍されたコンディショニングコーチの立花龍司講師による指導者、保護者向け講話会も行われ、子どもから大人まで会場全体が大盛況でした。  
ところが、この全国少年少女野球教室の開催に向け、準備が本格的になってきていた3月11日、東日本大震災により東北地方が大きな被害を受けました。その影響で毎年全国各地47都道府県で開催していたこの野球教室も、残念ながら今年は岩手、宮城、福島、茨城の4県で開催することができませんでした。  
「生かされている命に感謝し、全身全霊で正々堂々とプレーすることを誓います」。震災の直後に開催された高校野球大会での選手宣誓の言葉です。本教室でも参加した子どもたちが「全身全霊で」野球教室に取り組んでいる姿勢がとても印象的でした。  
今回の総受講人数は9,893人。第17回の開催を終え、参加総べ人数は195,530人となり、20万人まであと一歩！「100万人とキャッチボールを！」という事業目標のようやく1/5までできました。まだまだ先は長いですが、日本プロ野球OBクラブはこれからも野球少年・少女の夢を応援していきます。  
(事業部 曾根)

※各会場で開催しました募金活動については3ページをご覧ください。

## 東日本大震災復興支援活動を展開

3月11日に発生した大地震で被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。

スポーツは心と体を元気にする大きな力をもっています。その力を被災地へ贈り届けることができるのが、私たちプロ野球OBです。

現在、OBを被災地へ派遣することを検討中です。刻々と変化する被災地の状況を見極めながらの判断となりますが、参加への関心、意欲があるOBの方はぜひ事務局までご連絡下さい(TEL:03-3626-8911)。30・40代OBを中心とした派遣チームを組みたいと考えています。

まだまだ十分な活動とはいえませんが、復興への想いをいつも傍らに置き、これからも支援活動を行っていきます。

### ■義援金報告

5月8日「第17回ダイワハウス全国少年少女野球教室」の各会場で義援金活動を行いました。ご協力をいただきました皆さまには心からお礼申し上げます。  
義援金：899,103円(7月7日現在)  
使 途：「中学校野球部応援プロジェクト」の実施  
「第17回ダイワハウス全国少年少女野球教室」中止会場(岩手・宮城・福島・茨城県)での野球教室開催(夏・秋実施見込)



福島県田村市で開催された支援活動

### ■中学校野球部応援プロジェクト

主催：社団法人全国野球振興会  
対象：岩手県気仙地区(陸前高田市、大船渡市、住田町)中学校体育連盟軟式野球専門部  
内容：(第1弾)6月実施：全国中学校総合体育大会地区予選会への用具提供(軟式ボール50ダース寄付)  
(第2弾)準備中：気仙地区へのプロ野球OB派遣、被災各校及び同地区選抜チームへの用具提供

### ■東日本大震災義援活動野球教室&ティーボール大会

共 催：日本ティーボール協会東京都連盟  
社団法人全国野球振興会  
期 間：4月23日(土)・24日(日)  
場 所：福島県郡山市、田村市、矢吹町の各避難所  
派遣者：片平晋作、黒江透修、末次利光、鈴木健、原田治明、松沼雅之、屋鋪 要  
参加者：避難者約650人  
内 容：野球教室、ティーボール教室、サイン会  
提供品：ティーボール用具、野球用品、ベースボールカードほか  
協 賛：鶴沢ネット㈱、内外ゴム㈱、ナガセケンコー㈱、ゼット㈱、戦久保田運動具店ほか

〈参加OBの声〉  
「遠い復興までの道筋に一歩を踏み出そうとする被災地の方々の生きる力、人間の強さを感じました。OBクラブを通じてたくさんのプロ野球OBが支援活動に参加できれば、とても大きな力になると思います。これからの活動に期待しています。またぜひ参加したいと思います。」



## 第5回マルハンドリームカップ 全国ベースボールトーナメント 大会事務局変更のお知らせ



第1回大会より当会が主管として携わってきた野球大会ですが、今年度より大会事務局を㈱アスリートジャパンへ変更し、開催することとなりました。大会の詳細については公式ホームページ(<http://www.dreamcup.jp/05/>)をご覧ください。

# 2011年度 野球指導者養成・認定制度事業 「全国野球振興会野球技術指導員証」発行へ

前号の会報誌でお知らせしたとおり、野球指導者養成・認定制度事業がスタートしています。野球の「競技力の向上」「底辺の拡大」を目指すOBクラブにおいて、「指導者の養成」は最も重要な役割のひとつです。

2011年度は資格制度の第一段階として、OB会員を「公認野球技術指導員」に登録し、指導員証を発行します。これは、OBクラブ所属の会員に広く交付することを目的としています。「資格をもった多くのOBに野球教室等の事業で活躍してほしい」。また「基礎資格を持つことで指導者としてさらなるレベルアップを目指すきっかけになってほしい」との狙いから、「野球技術指導員」は、比較的取得しやすい課題設定(技術セミナーの受講とレポート提出)となっています。OB会員の方はぜひ「技術セミナー」にご参加いただき、資格の取得を目指してください。

なお、「野球技術指導員」以上の資格付与は2012年度以降に行います。ランクアップした資格の取得には、スポーツに共通した教養講座(障害予防、栄養、コミュニケーション能力など)の受講や指導現場の実地研修などが課題となる見込みです。アスリートからジュニアまで一貫したシステムの中で選手の育成を行う制度の確立を目指すとともに、有資格者が全国各地で活躍できる土壌を関係各団体と連携して整えていきたいと考えています。

## 技術セミナー「野球技術指導員」養成講座 実施報告

今年2月に行ったアンケートでは、技術セミナーについて、「現場に近い選手・コーチから今の技術講義を聴きたい」との声が寄せられました。6月に関東地区で行われたセミナーは、その声を反映した講師陣が選ばれ、より現代的、合理的な視点に基づく技術論が展開されました。また、一つの表現方法について、受講者から質問や意見が相次ぎ、講師と受講者がともに考えるシーンも多く見られ、従来の「OB会員相互の勉強会」という趣旨も継承。内容の濃いものになったのではないのでしょうか。

トップレベルの技術と経験を有するプロ野球OBが、お互いの技術論について発表や討論する場はほかにはありません。このセミナーは、1998年から数えて今回で128講義が実施されました。

今回の関東地区会場へは、北海道・宮城・長野・大阪・岡山など遠隔地からも多数参加をいただきました。セミナーの地方開催を望む声は多く寄せられています。経費や運営面からみて、受講者数の確保が難しい地域での開催は事実上困難な状況にあります。来年度は、これまで開催したセミナーをインターネットから閲覧できる通信講座の開設を準備しています。通信講座を利用することで、全国各地のOB会員にもご参加をいただきたいと思いますので、開設まで今しばらくお待ちください。

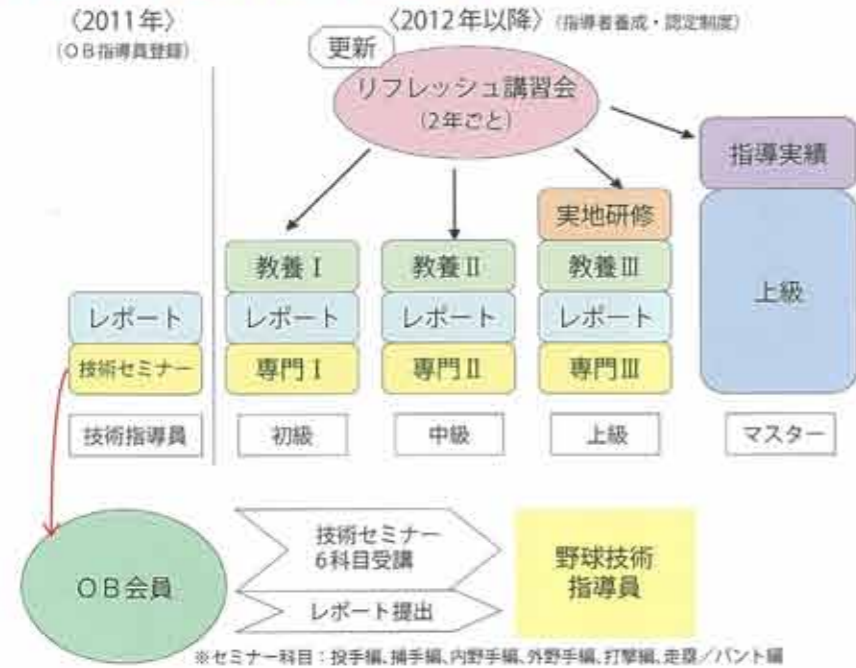


### I 期間東地区 (時間割)

	6月1日(水)	6月13日(月)
1時間目/講師	内野手編/仁志敏久	捕手編/西山秀二
2時間目/講師	外野手編/屋鋪 要	バント・走塁編/仁志敏久
3時間目/講師	打撃編/小早川鋭彦	投手編/森田真澄

※参加OB各回40~50名

## 養成講座コンテンツ(構想)



プロ野球出身者を「野球技術指導員」に登録  
OB会員に広く交付  
会員のステータス顕示  
認定制度受講・スキルアップへの動機づけ

指導者養成・認定制度受講へ

- 「野球技術指導員証」発行について  
過去の技術セミナー参加者または今年度セミナー参加者ですすでにレポートを提出された方など、「野球技術指導員」の課題修了者の皆さまへは、指導員証発行に関するご案内を10月までにお届けさせていただきます。
- 技術セミナー開催予定  
II 期間西地区: 7月20日(水)・21日(木)  
於) 大阪市中央体育館  
III 期間東地区: 9月17日(土)・19日(月・祝)  
於) 墨田区総合体育館

●TOPICS  
当会理事長 森 徹が、このたび学識経験者として推薦され、財団法人日本プロスポーツ協会(会長 高村宣伸/前衆議院議員、筆頭副会長 加藤良三/前日本野球機構会長)の理事に就任しました。今後は同財団と連携し、充実した認定制度の確立に向け取り組んで参ります。



# 早稲田大学 eスクール 「特別選抜入学試験」受験希望者を募集

早稲田大学で自分の可能性を広げてみませんか?  
早稲田大学人間科学部では2003年度より、ほとんどの課程をインターネット上で展開する通信教育課程「eスクール」を開設。07年度からはスポーツ分野の特別選抜枠が設けられ、当会OB会員4名が受験し、4名とも合格。そのうち2名が11年3月に卒業されました。

eスクールは「人間環境科学科」「健康福祉科学科」「人間情報科学科」の3学科からなり、入学後に自分の興味に応じて他学科の専門科目を履修することも可能です。

授業は基本的に一週間単位で進行。インターネットで配信される動画で授業を受講し、小テストやレポート提出もネットの学習システムを使用。ネット環境とパソコンがあれば、そこが「学びの場」となります。

通信教育とはいえ、文部科学省認可の正規の大学教育であり、所定の単位取得で通学制の4年制大学卒業と同じ「学士」の学位が得られます。

学生は18歳から上は60代まで幅広く、約800名が在学中(5月現在)。8割が社会人で、多くの学生が仕事と勉強を両立させています。そんな学友とネット上に開設されている「ホームルーム」で交流ができ、授業で学ぶ知識以外にも、eスクールで得るものは卒業後の宝となるでしょう。

### eスクールに興味のある方は

<http://www.waseda.jp/e-school/>  
特別選抜入学試験の受験については  
当会事務局 03-3626-8911 まで  
お問い合わせください。

「OB NEWS」49号では井坂 興氏のeスクール卒業を掲載しましたが、田辺徳雄氏も2011年3月に同スクールを卒業。今回は田辺氏にお話を伺いました。

## まだまだ学びたい ~田辺徳雄氏~

人間科学部 eスクール健康福祉科学科 2011年3月卒業

埼玉西武ライオンズでファーム打撃コーチを務める田辺徳雄氏。eスクール入学当時も同職に就いており、仕事と勉強を両立させる苦労は最初から覚悟していた。しかし「予想以上に厳しかった。休日の一日で一週間分の講義を受けないといけない」と当時を振り返る。特に軽井沢でのゼミは、野球シーズン中に行われた。デーゲーム後、自分で車を運転し軽井沢に向かい、夜にゼミを受講。翌日にはチームに合流し、再び軽井沢へ。「そんな2日間の走行距離は600km以上」と田辺氏は笑いながら話してくれた。

その状況下、学ぶ意欲を維持できた理由は何が。「学生の年齢層が幅広く、いろいろな職業の人がいる。ディスカッションをするとさまざまな深みのある考えを聞くことができる」と学友との触れ合いを理由に挙げた。

しかし、根本には田辺氏の強い意志がある。eスクールは入学後、最長8年間の在籍が可能だが、4年間で卒業した。「初めから4年間と目標を立てていた。今、苦勞すれば、悪い方は悪いかもしれないが、後で楽になる」。そう語ってくれたが、常に自分に厳しい田辺氏。「まだまだ学びたい」と意欲は尽きない。同スクールではティーボールやソフトボールなど、野球以外のスポーツに触れ、「直接的、間接的なヒントを学ぶことができた。一般の人にも楽しめる種目を通じて、幅広い指導を心掛けていきたい」。

お話を伺った田辺氏の印象は、とても物腰の柔らかい方。しかし、その言動には情熱を感じる。現在は西武でファームの選手を育てる立場だが、将来は当会で子どもたちを指導する姿が見たい。

## 特別連載 野球体育博物館 第9回

### 桃太郎の袖マーク

プロ野球のユニホームの袖には、さまざまなデザインのマークがついていますが、今回ご紹介するのは、めずらしい桃太郎の袖マークです。東京オリオンズ(現千葉ロッテマリーンズ)は、1966年6月21日から、それまでの赤白青三色のワッペン型の袖章に代えて、昔話に登場する桃太郎をユニホームの左袖に付けました。当時の永田雅一オーナーが「日本的でもっとも力持ち」のペットマークを希望したところ、デザイナーから金太郎と桃太郎の2つの案が提案され、このうち「気は優しく力持ち」の桃太郎が採用されたといわれています。

写真のユニホームは1968年のもので、袖には刀のかわりにバットを振る桃太郎がとてもきれいな色で刺繍されています。背番号7は、「足長おじさん」のニックネームで親しまれたジョージ・アルトマン選手です。アルトマン選手は、大リーグでは1959年から主にシカゴ・カブスで外野手として活躍。1961、62年にはナショナル・リーグの代表選手として連続でオールスターゲームに出場。61年のオールスターでは、本塁打を放っています。1968年に来日し、74年まで東京オリオンズ、ロッテオリ

オンズに在籍。75年に阪神タイガースに移籍し、この年限りで引退しています。

このユニホームが使われた1968年は来日初年度でした。打率3割2分、34本塁打、100打点という素晴らしい成績で、打点王のタイトルも獲得しています。190cmを超す長身の外国人選手が、かわいらしい桃太郎のマークを袖に付けて大活躍をしました。



アルトマン選手のユニホーム



桃太郎の袖マーク

■各種野球教室・講演会

日程	名称	会場	講師
5月 11日(水)	八十二銀行 穂高会 研修会 講演会	穂高ビューホテル(長野県安曇野市)	黒江透修
6月 8日(水)	スポーツ選手活用体力向上事業	弘前市立みどり保育園(青森県弘前市)	杉山賢人
10日(金)	"	古賀市立舞の里小学校(福岡県古賀市)	島田 誠
	株式会社 浅沼組 講演会	新宿明治安田生命ホール(東京都新宿区)	藤川光男
12日(日)	ダイワハウス野球教室	大和ハウス新木工場G(栃木県真岡市)	大友 進、川崎憲次郎、内藤尚行、原誠 豪
14日(火)	スポーツ選手活用体力向上事業	西条市立玉津小学校(愛媛県西条市)	弘田澄男
18日(土)	羽生市少年野球教室	羽生中央公園(埼玉県羽生市)	市川和正、黒江透修、鈴木 健、立川隆史、松沼雅之
	大阪市中体連 野球指導者講習会	大阪市立昭和中学校(大阪府大阪市)	大熊忠義、西本伊三美、芝池博明、南幸礼重、和田 健
23日(木)	スポーツ選手活用体力向上事業	岩国市立双河小学校(山口県岩国市)	長内 季
24日(金)	"	甲賀市立山内小学校(滋賀県甲賀市)	西崎幸広
	"	宇都市立厚南小学校(山口県宇都市)	小林敦美
	"	板橋区富士見台小学校(東京都板橋区)	大塚光二
25日(土)	さいたま市障害者スポーツ教室	市営浦和球場(埼玉県さいたま市)	鈴木 健、三井浩二
28日(火)	スポーツ選手活用体力向上事業	蒲川市東積加小学校(富山県蒲川市)	千塚崇永
29日(水)	"	東久留米市第六小学校(東京都東久留米市)	堀 幸一
30日(木)	"	目黒区立南森小学校(東京都目黒区)	橋本和典

■その他の活動

日程	名称	会場	出席者
4月 18日(土)	2011年度BCリーグ開幕戦	長岡市悠久山野球場(新潟県長岡市)	大塚信孝
	"	諏訪湖スタジアム(長野県諏訪市)	吉澤 勝
17日(日)	"	高岡市常光寺野球場(富山県高岡市)	千塚崇永
	"	敦賀市総合運動公園野球場(福井県敦賀市)	川藤龍之輔
29(金 祝)	"	高崎市城南野球場(群馬県高崎市)	橋本和典
30日(土)	錦糸公園野球場落成記念式典	墨田区錦糸公園野球場(東京都墨田区)	黒江透修

■各種会議

日程	名称	会場	出席者
4月 4日(月)	第4回推進部会実行委員会	当会事務局(東京都墨田区)	黒江透修、広野 功、村上雅則
5月 13日(金)	第5回推進部会実行委員会	"	黒江透修、広野 功、村上雅則
16日(月)	第3回理事会	芝浦港南区民センター(東京都港区)	黒江透修、森 徹、清見秀雄、広野 功、西本伊三美、村上雅則、定永昭紀、鶴岡秀樹、金丸美樹夫、高津教信、三浦政基、川杉収二、木村竹志、玉利 賢、道法孝典、水嶋昭彦、横山健一郎、吉村 正、吉田正史、夏目 進
6月 2日(木)	第4回理事会	墨田区総合体育館(東京都墨田区)	森 徹、清見秀雄、三浦政基、道法孝典、定永昭紀、木村竹志、横山健一郎、広野 功、西本伊三美、村上雅則、池田哲雄、鶴岡秀樹、金丸美樹夫、高津教信、有賀加朗、川杉収二、玉利 賢、水嶋昭彦、吉村 正、吉田正史、五月女 貴
	第3回常務理事会	"	森 徹、清見秀雄、三浦政基、道法孝典、定永昭紀、木村竹志、横山健一郎、玉利 賢
13日(月)	第6回推進部会実行委員会	当会事務局(東京都墨田区)	広野 功、村上雅則、三浦政基
21日(火)	第4回常務理事会	墨田区総合体育館(東京都墨田区)	森 徹、清見秀雄、三浦政基、道法孝典、定永昭紀、木村竹志、横山健一郎、高津教信、玉利 賢

■新入会員一覧

氏 名	代表出身球団	ポジション
立川 隆史	ロッテ	外野手
仁志 敏久	巨人	内野手

■訃 報 謹んでお悔やみ申し上げます

氏 名	代表出身球団	逝去日	享年	生年
矢部 祐一	巨人	2011年4月3日	64	1946
柳原 基	公民院野球	2011年4月22日	87	1924
伊藤 鶴郎	南海	2011年5月30日	78	1932
森田 誠	大洋	2011年6月17日	76	1935



共に創る。共に生きる。

大和ハウスグループは、  
グループシンボル「エンドレスハート」に  
お客様と私たちの永遠の絆と  
私たちグループの連帯感を託しました。  
人・街・暮らしの価値共創グループとして、  
私たちは社会に新しい価値を築いてまいります。

大和ハウス工業株式会社  
www.daiwahouse.co.jp

愛され続けて**55**年



オニザキの「つきごま」はゴマの粒を程よく残しつつ、  
 硬い皮を細かく砕き、  
 ゴマ本来の甘みと、独特のしっとり感が特長です。  
 料理にお使いいただくだけでなく、そのまま食べても美味しいすりごまです。

杵つき製法でていねいに作ったオニザキの「つきごま」シリーズ



株式会社 オニザキコーポレーションセールス

〒862-0951 熊本市上水筋寺1-6-41 OCOビルディング

お電話の方は…

0120-30-5050

受付時間 / 【平日】9:00~20:00 【土日祝】9:00~17:30

FAXの方は…

0120-50-4141

オニザキ

検索

<http://www.gomagoma.net/>